



受付番号	令和元年6月14日
/	午前11時57分 受領

令和1年6月14日

胎内市議会議長 薄田 智 様

胎内市議会議員 坂上 隆夫

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
洋上風力発電事業について	村上、胎内沖洋上風力発電所の建設計画について、事業者が計画段階環境配慮書を経済産業省に提出したと新聞で報じられた。この事について伺う。 1 村上、胎内沖洋上風力発電所が建設された場合、当市におけるメリット、デメリットを伺う。 2 税金はどれ位になるのか。 3 配慮書が提出されたばかりだが、県とのつながりをより強固にしなければと思うがいかがか。	市長
児童・生徒の安全対策について	1 少子化に伴い登下校時の安全確保が心配されるが、少人数、又は一人で登下校している生徒にはどのような指導をしているのか。 2 最近、通学路に熊や猪など出没している地域があるが何か対策の考えはあるのか。 3 登下校中の非常時や身の危険を感じた時のために携帯電話の活用は良いと思うが考えを伺う。 4 普通教室には、エアコンが設置される予定であるが、その他の教室にはエアコンの設置予定はあるか。 5 学校管理下で支払った災害共済給付の事案別の件数は。 6 プール開放の時も給付対象になるのか。	教育長

<p>有害鳥獣対策について</p>	<p>1 今年になって猪の目撃情報が増えてきている。平成30年12月定例会で市長は「今後は胎内市鳥獣害防止対策協議会や黒川地区野猿対策協議会、JA胎内市、各地区の猟友会等との協議の場で国の交付金を活用した防護柵や捕獲機材の導入などの事業を提案するとともに、被害防止に向けた体制づくりを行う」と答弁したが今年度の取り組みを伺う。</p> <p>2 今年に入ってから熊、猪の目撃情報は何件か、また捕獲頭数は。</p> <p>3 市内には、胎内市鳥獣害防止対策協議会や黒川地区野猿対策協議会、各地区の猟友会があるが、目撃情報や被害情報、足跡の情報は共有するシステムになっているのか。</p>	<p>市長</p>
-------------------	--	-----------



受付番号	令和元年6月17日
2	午前8時05分受領

令和元年 6月17日

胎内市議会議員 薄田 智 様

胎内市議会議員 羽田野 孝子

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問項目	質問の要旨	質問の相手
中条中学校の武道場と体育館について	平成31年第1回定例会の一般質問では、「中央公民館を改修して多目的に利用できる施設を併設し活用できないか検討している。」との市長の答弁だったが、今後の対策について伺う。 1、柔道授業の武道場確保について。 2、部活動の体育館利用状況について。	市長 教育長
地域づくりによる介護予防「通いの場」継続支援について	先日、7回目となる「市民と議会の意見交換会」を開催し、通いの場立ち上げ支援の3か月間は週1回の運動指導があり出席者が多いが、その後の自主運営になると参加者が減ってしまうので、月1で運動指導をしてもらいたいとの意見があったので伺います。 1、平成27年度からの立ち上げ支援の実施か所数、回数、参加実人数、延人数。自主運営の実施か所数、回数、参加実人数、延人数について 2、立ち上げ支援・自主運営推進の課題と方向性について	市長

質問項目	質問の要旨	質問の相手
<p>最近の人口推移について</p>	<p>アパートの建設が相次ぎ、新潟食料農業大学の学生、開志国際高等学校の生徒の増加、工業団地への企業進出などにより、人口の「下げ止まり」の傾向がみられてもいいのではと思われるが、第2次総合計画の将来人口に関連して見解を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、市の人口推移について 2、ここ2年間のアパートの建設戸数（世帯数）と住民登録の実態について 3、新潟食料農業大学生、開志国際高等学校生の居住地・住民登録の実態について 4、平成29年度から平成30年度に中条中核工業団地へ進出した企業に勤務する方の転入状況について 5、外国人登録者数の推移と特徴について 6、最近の市の人口推移について行政はどう分析しているのか伺う 	<p>市長</p>

胎内市議会議員 薄田 智 様

受付番号	令和 元年 6 月 17 日
3	午前 9 時 42 分 受領

一 般 質 問 通 告 書

令和 元年 6 月 17 日
胎内市議会議員 渡辺 栄六

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
児童虐待防止について	<p>警察庁は 2018 年に摘発した児童虐待事件は 1380 件、被害に遭った子どもは 1394 人でいずれも過去最多だったと発表した。親の虐待で尊い命を落とした事件を受け、虐待防止対策を強化する児童福祉法等改正案が、本年 3 月に閣議決定した。</p> <ol style="list-style-type: none">1、本市における児童虐待の現状と認識は。2、児童虐待の早期発見と防止対策は。3、子育てに悩む親に対する、子育て支援等の取り組みは。4、市の児童家庭相談窓口の果たす役割また、各行政機関との連携強化は。5、未就園児や保育園、小中学校等との情報共有と、学校における虐待対応・体制整備は。	市長 教育長
液体ミルクの普及と災害備蓄について	<p>液体ミルクは母乳に近い栄養素が含まれ、常温で約半年から 1 年間保存でき利便性に注目されている。政府は 2018 年 8 月、製造・販売を解禁する改正省令を施行した。</p> <ol style="list-style-type: none">1、災害時用備蓄品は市内の施設に何カ所、どこにどれだけ備蓄されているか。また、その利活用は。2、災害時にも活用できる乳児用液体ミルクの認識と現状は。	市長

(2 枚中 1 枚目)



<p>防災行政無線 について</p>	<p>3、 全国に先がけて乳児用液体ミルクの普及と、備蓄を進めている自治体がある。本市の今後の対応はどうか。</p> <p>4、 液体ミルクを取り扱っている販売店との、災害時協定を結ぶことについては。</p> <p>1、 市内に設置されている防災行政無線屋外スピーカー数と、設置基準は。</p> <p>2、 防災行政無線屋外スピーカーの放送が届きにくい地域は把握しているか。また、その対応策は。</p> <p>3、 乙地区には屋外スピーカーが設置されておらず、海拔1メートルの箇所もある。屋外にいて災害時や緊急発生時は不安であるとの声がある。今後の設置計画は。</p>	<p>市 長</p>
------------------------	--	------------

受付番号	令和 元年 6 月 17 日
4	午前 9 時 44 分 受領

令和 元年 6 月 17 日

胎内市議会議長 薄田 智 様

胎内市議会議員 丸山孝博

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。



質問事項	質問の要旨	質問の相手
開かれた市政運営について	1 各種審議会・協議会等、付属機関の会議及び議事録を公開することについて	市長
交通安全対策について	1 交通事故件数（過去3年）について 内、交差点での件数、自転車での件数、高齢者の件数 歩行者優先などの交通ルールの徹底について 2 保育施設外・学校外活動の安全対策、整備状況について、また市内全域において交差点に縁石やガードレール等を設ける対策を急ぐことについて 3 免許返納者への移動支援について、電動アシスト付き自転車購入補助金制度を創設することについて	市長 市長
保育行政について	1 保育施設等適正配置問題審議会の開催時期、委員構成等について 2 保育の保障義務、財政の公的負担、最低基準の維持などの公的責任についての認識は 3 市立保育園は公の施設として地域全体に責任を持っており、保育格差をなくし、保育の均一性を保障する役割はますます求められると考えるがどうか。	市長

受付番号	令和1年 6月17日
5	午前 9時 50分 受領

胎内市議会議長 薄田 智 様

令和1年 6月17日

胎内市議会議員 渡辺 秀敏

一般質問通告書



胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告いたします。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
臭気対策 について	<p>① 先日の市民と議会の意見交換会で市民の方から挙げた意見でもあるが、畜産業者からの臭気対策についてお伺いします。</p> <p>雇用・税収等、経済的な意味においてだけでなく、食の提供という観点からも私たちの生活には欠かすことのできない畜産業の保護、発展も重要ではあるが、一方、その臭気によって困っている住民の方々も多くいます。近くには学校や教育の施設もあります。</p> <p>受忍限度の問題もあり、それぞれの調和を図っていくことも大切だと思うが、市としての考え、対策をお伺いします。</p> <p>② 家畜の糞尿による地下水への影響について、水質検査を希望する意見も挙げられているが、その考えは。</p>	市長
洋上風力発電計画の進捗状況 について	<p>① 洋上風力発電計画について、当初、胎内市沖だけでの計画であった筈であるが、今月6日付けの新潟日報によると村上市と胎内市の沖合と掲載されていました。その経緯と今後の村上市との調整についてお伺いします。当初の計画では、岩船港をメンテナンス港としており、そう考えると村上市のほうが中心となってくるのではないかと思います。雇用や税収等、当初の思惑と異なってくると思いますが、洋上風力発電を公約として掲げる市長の考えをお伺いします。</p> <p>② 振動、低周波、電波障害、騒音等の環境アセスメントについて、十分な調査が求められますが、方法や期間等についてお伺いします。</p>	市長
インバウンド観光 について	<p>交流人口の拡大の方法として、インバウンドが注目されるなか、先般、韓国でのトップセールスを行っていますが、ゴルフのほかに観光、イベントへの参加、食などセールスポイントとなるような企画内容についてお伺いします。</p>	市長

受付番号	令和 元年 6 月 17 日
6	午前 10 時 15 分 受領

令和 1 年 6 月 17 日

胎内市議会議員 薄田 智 様

胎内市議会議員 森 田 幸 衛



一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告いたします。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
農業振興について	<ol style="list-style-type: none"> 1 本年度から農業用使用済みプラスチック適正処理の負担金を市が廃止した為、それまで農業者は 1/3 負担だったのが 2/3 負担となり、基幹産業に対する市の対応に多くの農業者が失望している。見直す考えは。 2 本年度から堆肥センターの堆肥販売料金を値上げした為、農家負担が 2～4 割増える事になる。値上げした理由と今後の運営方針は。 3 苔実地区内の小堀川約 300m の浚渫を圃場整備工事期間中に必ずやって欲しいという地元要望と排水機場ポンプの故障についての対応は。 	市 長
観光振興について	<ol style="list-style-type: none"> 1 奥胎内ダムを新たな観光資源とすることについて、昨年 12 月議会で「環境省や県とも調整を図りながら進めてまいりたい」との答弁だったが、その後の進捗状況は。 2 民間業者が実施している「ツールド胎内」に胎内市が協力する形で、より付加価値のあるイベントにすべきと思うが、市長の見解は。 3 市道下赤谷・鼓岡線(サイクリングロード)は、奥胎内のブナ巨樹と同様に、有効な観光資源になると思われるが、閉鎖を解除する考えは。 4 樽ヶ橋の河川公園に東屋を設置する事や、向こう岸までワイヤーロープを張って鯉のぼりを泳がせたいといった胎内市観光協会の要望についての対応は。また、樽ヶ橋遊園にオウムを飼って欲しいという市民要望については。 	市 長
教育振興について	市内小中学校における登山・ウォーキング・スキー授業等の実施状況と教育委員会としての考えは。	教育長

受付番号	令和 元年 6月 17日
7	午前 10 時 50 分 受領

令和 元年 6月 17日

胎内市議会議長 薄田 智 様



胎内市議会議員 八幡 元弘

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. まちづくりについて	<p>①胎内市内の中学生、中条高校や開志国際高校の高校生、新潟食料農業大学の大学生、及び胎内市から市外の高校や大学、専門学校に通っている高校生や大学生などに参加してもらい、胎内市の魅力や自慢できること、新潟県のお市町村の人や新潟県外の人にお勧めしたい場所、スポットなどについて意見を聞く機会や場を設けては。</p> <p>②中学生や高校生、大学生などは、SNSにも慣れていて、発信力があるので、中学生や高校生、大学生などの発想や視点、観点を活かして、まちづくりに参画してもらおう試みをしては。</p>	市長
2. チューリップフェスティバルについて	<p>①近年は、約5万人から6万人くらい来場者がいる。この来場者に胎内市の他の名所や観光スポットなどにも足を運んでもらえるような取り組みをしては。</p> <p>②観光周遊バスの停留所に、チューリップフェスティバル会場を加えては。</p> <p>③チューリップフェスティバルで毎年、菜の花畑の文字で迷路を作っている。その迷路を活用して、例えば数か所にスタンプを設けスタンプラリーにしたり、宝探しのようなゲーム性を加える試みをしては。</p>	市長

<p>3. 通学路の安全確保について</p> <p>4. カヌー活動の安全確保について</p>	<p>④チューリップフェスティバルの菜の花畑の文字は、昨年は「春爛漫 NAGAIKE PARK」、今年は「輝け 令和元年」でした。この文字は今までは作成者が考えていますが、公募を行ってみては。</p> <p>⑤菜の花畑の文字をドローンを用いて、ドローンの使用体験をしながら上空から見られるようにしては。</p> <p>①通学路の危険が予想される場所の把握状況は。</p> <p>②過去に交通事故が発生している場所の安全確保はできているのか。</p> <p>①胎内川河口のカヌー活動する場所に、近年砂が堆積してきている。安全確保のため及びより良いカヌー活動の環境を整備するためにも、掘削が必要ではないか。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p>
---	---	-----------------------

受付番号	令和元年6月17日
8	午前11時30分 受領

令和元年6月17日

胎内市議会議長 薄田 智 様

胎内市議会議員 桐生 清太郎



一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
樽ケ橋から胎内川左岸上流部の遊歩道・サイクリングロードの整備について	<p>胎内市の活力を高める活性化には、観光振興がキーポイントになることは間違いありません。現代社会は産業構造が変わり、人からAIにかわる時代に入っています。人の流れもバスを連ねて集団での観光から小グループや家族単位での観光に移行しています。その結果、観光産業は人と人の関わりで成り立つ雇用集積型産業の傾向が大きくなっています。胎内市の観光は必ず地域の活力を高めます。そこで以下の点についてお伺いします。</p> <p>樽ケ橋エリアの観光には、道の駅胎内、胎内観音、樽ケ橋遊園、美術館、クアハウスなどがあり、樽ケ橋遊園には大型遊具、休憩施設が設置され、近隣の保育園、小学校の遠足や自然体験など多くの方が訪れています。道の駅胎内から胎内川左岸上流8キロメートルは清流を眼下に春は桜並木の下をフィッシングパークまで進むとすぐロイヤル胎内パークホテルです。</p> <p>その遊歩道・サイクリングロードが数年前から管理されず通行不能になっていますが、早急に管理し市民が活用できるように整備する必要があると思うがいかがか。</p>	市長
オートキャンプ場の設置について	<p>昨年、志政会とみどりの未来では、福井県大野市の九頭竜へ観光振興を主眼にオートキャンプ場の視察研修を行いました。岐阜県の県境の九頭竜川上流の川沿いに昭和42年建設の国民宿舎があり、観光シーズンは多くのキャンパーが訪れるということでした。国民宿舎に隣接して木立の中に60台分のスペースと炊飯施設、トイレなど一連の設備が整っていました。キャンプ場は、一般の車が駐車できるスペースがある程度で炊事場は2・3箇所ある程度と大きめのイベント広場にトイレが設置されているという比較的簡易的な設備でした。</p> <p>そのような設備であれば、ロイヤル胎内パークホテル近隣でも今すぐにでも取り組むことができると思います。多様な観光客を取り込むこと</p>	市長

<p>コテージの建設で滞在型観光の誘客について</p>	<p>は、胎内市の観光全体をグレードアップすることにつながることからオートキャンプ場の設置について、市長の考えを伺います。</p> <p>研修視察で九頭竜川右岸に近代的な温泉休養施設とコテージ村が併設されており、年間を通して利用者があるとのことでした。胎内観光の誘客の要として、ロイヤル胎内パークホテル周辺にコテージ村の建設を進め、ホテルと一体的に組み合わせることで都市部や海外のインバウンドなど時間に余裕がある富裕層の誘客が見込める事業になると思います。山、川、温泉、夜は星が降り注ぐ胎内市の自然環境を活かしてコテージ村を開設し、全国に発信することについて、市長の見解を伺います。</p>	<p>市長</p>
<p>胎内スキー場の整備充実について</p>	<p>胎内スキー場も開設 55 年を経て、老朽化している中で、現在もウイタースポーツの要として運営されていることに安堵感と誇りを感じています。今年 2 月、常任委員会で所管事務調査を行い、さらにその思いを強くいたしました。</p> <p>長い年月を経て多くの課題はありますが、早急に改修を要するものがあると思いますが、現在の改修などの計画と課題等についてお伺いします。</p>	<p>市長</p>



受付番号	令和元年6月17日
9	午前11時56分 受領

令和元年 6月17日

胎内市議会議長 薄田 智 様

胎内市議会議員 森本 将司

一般質問通告書

胎内市議会 会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
インバウンド等について	市長は定住自立圏におけるインバウンド観光客の増加を図るため、先日訪韓されたとのことであるが胎内市としての今後の考えについて伺う。 1. 今後何か国、何名程の外国人観光客を見込んでいるのか。 2. 受け入れ態勢の強化や整備計画は。 3. 市長のトップセールスとして市内産の特産品の輸出も考えられるが市長の考えは。	市長
道の駅について	本年より全国道の駅連絡会の一般社団法人化に伴い、民間企業も会員となれるようになった。民間企業の集客ノウハウや商品開発等の面での連携等考えられるが市長の考えを伺う。	市長
県議会選挙について	1. 先般の県議会議員選挙について黒川期日前投票所や投票所への送迎など投票環境の変化が見られたが、投票率への影響等どのように捉えているか。 2. 新発田市、上越市では県議会議員選挙から商業施設への期日前投票所の設置をおこない一定の効果を上げたとの事であるが胎内市での設置の考えは。	選挙管理委員長

(1枚中1枚目)